

◇日 時：平成 17 年 11 月 10 日（木）午後 6 時 35 分～8 時 45 分

◇会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

◇出席者：森嶋、今井、辻、吉本、大垣、清水、竹浦、岡本、荒木、田畑、山内、高橋、出野、井戸田、山田、北中、東野、田中

◇欠席者：運天、高田

◇議 長：森嶋

討議内容

I. 行動報告（10 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

①総務関連

- ・平成 18 年・19 年度の副会長選挙は立候補者が定数内のため選挙規程に則り無投票を決定した。
- ・経済産業省からの平成 17 年度「医療経営人材育成教育プログラム」高度医療教育コンソーシアムへの参加依頼の対応として朝山副会長が代表として出席する。

②学術関連

- ・NST 研修会を 11 月 19 日・20 日及び平成 18 年 2 月 18 日・19 日の予定で開催する。
- ・第 95 回日本病理学会総会のワークショップに役員 2 名を派遣する。
- ・「CRC 研修のための実習教則本」を発行の予定。
- ・生涯教育研修制度「専門教育研修課程」から「認定技師制度」への移行について、「認定総合管理検査技師（仮称）」が来年度より委員会を立ち上げるために各地区より担当役員が選出され、近臨技からは森嶋副会長氏が選出された。日臨技独自の認定制度として立ち上がる予定。

③渉外関連

- ・法改正後の省令委任等に関する諸問題を検討した。
- ・厚生労働省から「医療安全推進週間」実施についての要旨文書を受理した。
- ・「第 5 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議」於：横浜市が終了した。参加者数は 2,442 名。
- ・認定技師制度に関連して日本染色体遺伝子検査学会及び日本人類遺伝学会との懇談を予定している。
- ・認定センター設置準備委員会を設置した。

④国際関連

- ・「AAMLS 学会」於：上海市が終了した。参加者数 504 名のうち日本国からの参加は 35 名。
- ・「第 27 回 I F B L S 学会」於：韓国にて日韓フォーラムを予定している。

2. 近臨技 開催日（10 月 16 日）

- ・経過報告で纏めて報告する。

3. 事務局

総務部 部会開催（10 月 11 日）

庶務

- ・11 月理事会の開催準備を行った。
- ・社団法人設立 20 周年記念式典の開催準備を行った。
- ・個人情報保護に関する誓約書について周知した。
- ・17 年度会員名簿を発行した。

広報

- ・大臨技ニュース 11 月号を発行した。

- ・ ホームページを更新した。
- ・ 平成 18 年度事業・予算案について協議した。

会計

- ・ 9 月度収支計算書を作成した。

渉外部 部会開催（10 月 18 日）

- ・ 大放技合同フォーラムの進捗状況を確認した。
- ・ 手話講演会の開催日を 11 月 30 日とし会場をクレオ大阪とした。
- ・ 近臨技学会の報告を行った。
- ・ 18 年度事業内容と開催日を確認した。

4. 事業局

情報組織部 部会開催（10 月 20 日）

- ・ 11 月 19 日開催の大臨技フォーラムの役割を確認した。
- ・ 社団法人設立 20 周年記念式典での部員役割を決定した。
- ・ 18 年度事業の開催予定日を決定した。

地区事業部 部会開催（10 月 20 日）

- ・ 12 月 3 日（土）14：30～17：30 に開催予定の会員交流会の会場は大阪労災病院講堂を設定した。
- ・ 11 月 30 日開催予定の第 18 回中央支部自由集会とチーム医療パス部会との合同開催事業についての最終協議を終え、開催時間を 18：30～19：45、会場をあべのメディック 7 階とした。
- ・ 18 年度事業計画を調整した。

学術部 部会開催（10 月 27 日）

- ・ 来年度の学術部のあり方について討議した。
- ・ 近臨技学会の報告を行った。
- ・ 来年度の予算書と計画書について討議した。

5. チーム医療推進委員会 委員会開催（11 月 7 日）

- ・ 来年度の所属部として学術部・チーム医療部門に移管することへの了解を得た。
- ・ 初代部門長としてパス部会の東山氏を選任した。
- ・ 部門内編成で褥瘡部会は解消され NST 部会の中で活動することとした。

III. 他、報告

1. 国際協力（アフリカ研修生）事業について

- ・ 11 月 2 日、第 1 回国際貢献専門委員会を開催した。
- ・ JICA、JIMTEF、JAMT、研修生受け入れ可能施設との会合を行った。年内までに受け入れプログラム案を作り、1 月末にアフリカより招聘された 6 ヶ国が訪日したその時点で決定する。
- ・ 年内会議日程は 11 月 26 日・12 月 9 日・12 月 22 日の予定

2. 大阪大学大学院医学系研究科・社会医学専攻からの案内について

- ・ 大阪大学より協力要請があり運天常務理事を派遣する。

3. 個人情報保護に関する書類提出の進捗状況について

- ・ 本日の理事会を提出期限としたが未提出部会は 12 月理事会を最終期限とし期限遵守を依頼した。

4. 第 45 回近臨技学会及び平成 19 年度近臨技学会準備について

- ・ 10 月開催の第 45 回近臨技学会について派遣者報告があり同時開催は概ね好印象との感触を得た。
- ・ 他学会との会談日程は日本臨床検査医学会近畿支部とは 11 月 23 日に日本臨床検査医会とは 19 年の早々に行う。
- ・ 近畿検査薬卸協議会と会談を行い主にプロモーションコードについて情報交換をした。
- ・ チーム医療実践セミナーについて、糖尿病療養指導：33 名、ICT：27 名、NST：50 名の参加を得た。各小委員会とも充実した内容となり、継続開催の確認がなされ、今後は開催方法について討議される予定である。開催方法として、小委員会の同時時間帯平行開催ではなく連続開催にしたいとの意

見が強調された。他団体との同時開催なら抄録集の一本化にしたいとの意見が強かった。

5. 大臨技役員選挙日程について

- ・平成 18・19 年度役員選挙管理日程案について説明があった。
- ・会員への周知に関して大臨技ニュースへ選挙告示と立候補者の資格等を掲載する。
- ・選挙告示 1 号を 12 月 20 日付で発行し立候補受付の締切を 1 月 31 日とする。
- ・現役員の立候補届出書等は 1 月理事会で会長へ提出する。
- ・実質上の役員任期について会計事務所から定款に沿って 6 月 1 日から翌々年 5 月末日とするか現状の 4 月から 2 年間の任期を継続するならば定款記載事項の変更をするかの勧告があったので次回理事会での審議事項とする。

6. その他

- ・第 22 回中部地区一般検査研修会からのプログラム配布許可願いを承認した。平成 18・19 年度日臨技会長選挙について関東甲信地区ニュースの配布依頼を承認した。
- ・日本臨床化学会・大阪臨床検査 I S O 15189 研究会・生物資料分析科学学会からの研修会後援依頼を承認した。
- ・大阪府地域医療推進協議会からの「国民皆保険制度を守る署名運動」依頼について全面協力する。

IV. 議題

1. 法人設立 20 周年記念事業について

- ・11 月 1 日に開催された第 2 回実行委員会の議事録説明があり承認された。
- ・当日の役員服装は略礼服装とした。
- ・招待状の住所氏名の記載事項について最終確認を行う。
- ・大阪府知事賞 6 名の他に大阪市長賞も 6 名枠を確保したので受章者候補を調整する。

2. 記念式典時における会長賞受章者候補について

- ・学術部推薦の大阪府立母子保健総合医療センター・宮野章氏と前回理事会で推薦された大阪赤十字病院・山下己紀子氏の両名を決定した。

3. 18 年度事業日程について

- ・各部から提出された事業企画案を基に主催事業の日程案が提示され承認された。
- ・学術部は学術部事業企画との調整を行い次回理事会において 18 年度全事業日程案を提示する。

4. その他

- ・原川事務員からの労働保険への加入申請を受理した。
- ・学術部；生殖医療分野からの独立部門設置申請を却下した。
- ・地区事業部の各支部世話人は各支部地域から選出されていたが、事情により地域を越えた世話人の指名も許可することとした。

以上